

梅雨空に 明日仕事か 小銭見る 岡本太郎



堀江日出男展「もういちまい」の会場で見展を見る堀江さん。

~~もういちまい~~  
 先頃 ひと花利用者の「堀江日出男展」  
 と題に行き、電車と路線バスを乗り継いで  
 一時間あり。閑静な住宅街にある  
 大はなないの施設の普通部屋。  
 喫茶店に入る様な所で一歩足を踏み入  
 れたのが、~~身が~~ <sup>身が</sup> 得体のよいぬいぐるみ  
 効果で迫り来た。  
 えんぴつで線を引いただけの作品だが  
 「堀江」の二鬼の宿で分身たちが語りかけ  
 くる。  
 毎日ただ線を描きつづける「いちまい」書には  
 「もういちまい」毎日。  
 白紙に描き出すとくかとして謙遜するが  
 ショウゴウはかかるとも感懐けることない  
 堀江氏の生々様がかつおた作品展であった  
 短時間の観覧であったが「真実を知る」  
 ということをおこせるように帰路 車窓の眺め  
 がやさしく神々しかった。  
 軒風

# ひと花新聞

第 104 号

令和 4 年 6 月 5 日  
 発行・NPO 法人釜ヶ崎支援機構  
 ひと花センター  
 〒557-0002  
 大阪市西成区太子 1-13-15  
 電話・06-6649-7890

ハンカチは 洗えど癒えぬ 胸のシミ 野風

風薫る五月。小生七十八回目の誕生日を迎え、  
 長生で一番心配事のは体の老化 頭脳の衰化  
 ポケです。脳血管障害とアルツハイマー型と二あるが  
 脳血管型はとうとうもなけれどアルツハイマー型は  
 頭と身体を壊し趣味もろく遊ばない  
 矢張りければ 充分 予備で予備。現金を使つて  
 買物。新聞 読書。カウチ。フードパズルや。  
 ナンプレなど 頭の体操 体力の方は  
 一キロ二キロ歩くこと。私は自転車に  
 杖を杖の杖の杖の杖。マンションの  
 上下の歩くで充分 運動になります  
 杉良太郎の楽曲「ボケたあかんて長生  
 になれ」知っていますか？  
 「年をとり、おしやばら、憎ましく  
 泣きごと、人のかげ、愚痴いれど  
 他人の事、管のほれ 知ってるこも  
 知らんか、いつかあはでいるこつちや。  
 ほけたらあかん ほけたらあかん 長生  
 になれや、各 ひと花  
 花、忘れ 意気軒昂の 夏の空  
 く一平)



復興支援カレンダー「ここに、生きる」を作られた土屋行子さんも参加された「ひと花句会」での記念撮影。カレンダーを構えるのを忘れていたので、一平さんをお願いして、もういちまい。

私のよもやま話  
 久しぶりに、原稿書いています。健康診断の、胃カメラ検査で、胃癌が見つかり、ステージ1なので、今手術したら、二週間位で、退院出来ます生存率は、99.8パーセントです。何人かの知りあいの人に、相談したら、今、手術した方がよいよ。背中押してもらって、手術を、うけました。それから、77日、地獄の、闘病生活の始まりました。腕から、点滴、鼻から酸素、口から栄養のチューブ、約、50日、寝たきり状態で、過ごしました。入院生活で、感じた事は、一日24時間が、途轍もなく長いと思いました。只、胃の手術なので、点滴以外に、何も食べれないのが、辛かったです。60日過ぎて、やっとお粥を、口にしたら、食べただけ吐きました。胃が対応出来ないのです。最初は、お茶も飲めない状態で、流石に、婦長に医療ミスと、違うかと、詰め寄りました。後に、院長と婦長さんがレントゲン写真で、説明してくれました。その後、点滴から感染症になり、40度の熱が、続きICUに3日いました。その後、少しお粥が、食べれる様になり、何か、あればすぐ入院する条件で、退院しましたが、長い病院生活で、足が弱って、50メートル位歩くと息切れが。何かに捕まらなければ、立て無い、これからリハビリが大変です。 皆さん、ご心配をおかけしましたが頑張っリハビリし、又、ひと花センターのプログラムに、参加したいと思えます。 まず、お礼と、挨拶まで、皆さんに宜しくお伝えください  
 桐井でした。

**ポッチャ会** 於・西成市民館  
 6月11日(土)  
 13時~14時30分



**ひと花映画館**  
 あの名作に逢える...  
 毎週 日曜、木曜  
 13時から  
 登録者以外も大歓迎、マスク着用をお願いします

あまがえる 夕立ち時を 知らせ鳴く 伍代詩秀

古い忘れ 意気軒昂の 夏の空 一平 雨ふれば あじさい光る イキイキと God 酔い足で すつてんコロコロ とろてん 赤鬼

※ ひと花センターは、西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業として、平成25年からスタートしています。

外野席 響く売り娘の生ビール 一平

浪速の灯 点す提灯 夏暖簾 岡本太郎

想い人 何処に居るや 菜種梅雨 赤鬼

半ズボン 幼稚な頃の 名残りみえ なべさん

久びさに これやあれやと 走馬灯 尚志てんとう虫

夏あじさい 庭の隅にて 咲きにけり 伍代詩秀

# 車椅子

## wheelchair

5月23日外出から戻ると急に気分が悪くなり倒れおりに倒れた横になりしばらくして気分が悪くなる一方だったので救急車を呼ばねばと思っていた時ご主人にも同じように倒れた人がおられてくれましたので事情を伝えました。1階にホームのスタッフが休んでいたのて近くにいきつけの病院が近かったので車椅子でつれていってもらいました。新しい靴や足のしんがが履き確認して念のため頭やお腹のレントゲン、心電図、血液検査点滴を打っていただきました。結果、どれも以上なしとの事でした。もし不安なら、2、3日入院した方がよいかと云われたので自分で様子みり申しました。病院も終りの時間でした。先生、看護婦、事務員の人々も私の事に配慮してくれました。ありがとうございました。私は一人では無い。いろんな人がまわりいてくれる事嬉しく思っています。このため私に面倒をみてくれた方々に心から感謝しています。私も初めて車椅子で経験しました。自分では車椅子なんか乗るもんか。車椅子人生なら死んだほうがましと云っていた自分か。とては分かんじ。どうが車椅子と利用されては方にお願います。車椅子を押し回す方には又かやあがままえわらいで下さい。私や夕回の中で車椅子のありがたさやわがやが車椅子人生でも生きていける事かあると思ひます。私の事助けていた方々に心から感謝申し上げます。お礼申し上げます。

幸甚命者 とくじい



「山王訪問看護ステーション」からの声かけで「ベンチ作り」のお手伝いをしました。大工仕事に慣れた人から初心者まで参加して出来上がったベンチには「kioku手芸館たんす」の手作り座布団を付けて飛田本通商店街「魚源」さんの前に置いてもらっています。買い物中のちょっと一息にどうぞ。



京丹後で田植之体験  
5月24日、丹後で田植之を体験しました。総勢10人。京都は広い。行けども行けども青い山。途中、大江の道を見ました。大江の生野の道の遠ければ、また文を見ず天の橋立(文意)。丹後は京都の都から遠くはるかに遠くまで、丹の千紙はまた届きません。ある歌合で、和泉守の娘の小式部内侍が作ら歌です。西之州さん二歌が上り下りいかにどうせ母親に作ってもらっている。いかにうらうら、かつかわれたので、すくなくまた、この歌をうらうら返した。とこころでその大江の、こころと並通つ山でした。それから田植え。事と別長靴は無理だと固く言いましたが、その通り。泥土に足を取らぬ、足もつまみこむ、うらうらうらうら作業。赤玉のつり糸はとって苗と植えてゆくのです。どうしてか、どうしてか、どうしてか。春食は野菜カシとサウダでも、こころをこころで盛りました。上り下り盛りに付け、上品な女性たち。風流のほしやせ、おくの田植之歌(芭蕉)。京丹後も負けず風流でした。

あたらし



ひと花ゲーム広場  
6月21日 13時～  
於・萩小の森

毎週のようにならぬ。毎週(A)からベツシクを受け取る大川。花世界の関係は、そうではなかつた。世間の常識は、その世界では非常識であり、その逆もまた然り。その世界で生きる。輪廻として、意外だった。日本映画の父といわれる。牧野省三の愛人の子である。松田定次は長じて映画界に入り、監督として活躍した。省三の葬儀の時、本宅の長男であるマキノ雅弘は、年長の松田に焼香の順を譲った。本宅と本宅との関係がスムーズだったのだから。松田は戦後、隆盛を誇った。東映時代劇の第一人物であり、雅弘は日本の映画界の革命者。雅弘は日本代表の監督として映画界に足跡を残した。雅弘の前の大スター、轟夕起子は、雅弘の前の大スター。

※ひと花センターでは新規登録者を募集しています。高齢で生活保護受給の独り住いの方が対象です。詳しくはひと花センターまで。